市政報告レポート 2020年 3月 6月 **9月** 12月

過去のレポートは
ホームページから

川崎市議会議員 中原区宮内出身

しげとみ 重冨たつや

討議資料

想定外!?

川崎じもと応援券 売れ残り問題

川崎市は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上が大幅に減少している飲食店や生活関連サービス等における消費を促し、市内循環による経済回復を目的としてプレミアム付きの商品券を８７万冊発行しました。ご協力・ご利用頂いている事業者や市民の皆様に感謝申し上げます。

一方でこの事業には課題もあり、購入申込数は２次募集締め切り日時点で発行数の５４％にあたる４７万３千冊に留まっています。なお１次募集で申込があった約２５万冊のうち実際に購入があった冊数は約７５％の約１９万冊となっています。

応援券の主な特徴

- 1万円で1万3000円分の商品券を購入可
- 利用対象店舗は中小･個人経営の店舗に限定
- 3000円分は国の交付金を利用して市が負担

事業費３０億円の内訳

26.1億円 …… プレミアム分（3000円×87万冊）

3.9億円 …… 事業委託費（販売･印刷経費など）

このままだと
事業目標達成率 50%!?

ありがたいけど。。。
準備不足？
使えないお店も多い？

市は、じもと応援券事業で最大総額１１３億円の資金が市内に循環すると説明をしていました。これは８７万冊が市内で利用された場合には、８７万冊 ×１万３０００円で１１３億円が循環すると想定していたものですが、２次募集までに購入申込があった商品券が全て利用された場合でも約６０億円の循環に留まる見込みです。今後は、３次販売を予定しています。

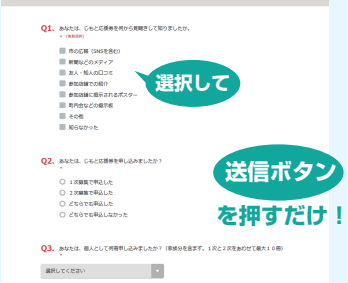
次のアンケートはこちら！

川崎の未来に1票！

じもと応援券について皆様のご意見をお聞かせください。利用者の方はもちろんですが、応援券のことを知らなかった方や事業者の方からも率直なご意見を頂けますと幸いです。

ご協力よろしくお願いいたします！

今回のテーマ 川崎じもと応援券について



結果はブログでお知らせさせて頂きます。

参加方法

1. QRコードから
2. ホームページから 重冨たつや 検索
3. メールで回答送信 shigetomi_tatsuya@outlook.jp ご回答はご自由にお寄せ下さい
4. FAXで回答 044-281-6340

事業費ありきの事業規模

３０億円の事業費は、当初見込まれていた国からのコロナ関連交付金をほぼ全てこの事業に投入することを意味するため、議会では事業内容について改善を求める声が多くありました。またこの事業の規模（発行冊数８７万冊）は想定される販売枚数から見積もられたものではなく、国からの交付金をほぼ全て投入することありきで販売枚数が決定されていたことにも課題がありました。

結果としては、７月３日の募集締め切り日までに購入申込があったのは２５万６千冊で、その後２次募集を実施しましたが８月１３日の募集締め切り日時点で延べ４７万３千冊（発行冊数の５４％）の購入申込に留まっています。

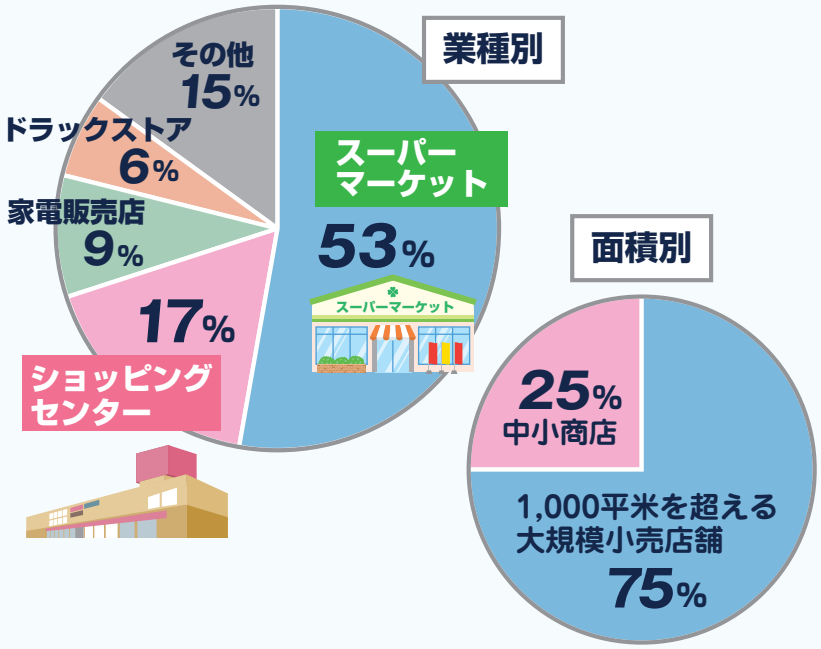
一般的な事業の考え方

じもと応援券の考え方

国からの交付金見込額	事業委託費	残額で発行できる数
30億円	3億9千万円	87万冊

過去から学ぶことができた!!

平成２７年度 プレミアム商品券
使用された場所



川崎市が平成２７年度に発行したプレミアム商品券は、発行冊数２７万５千冊に対して４４万冊の申込があり抽選となりました。当時の商品券使用実績を見ると、大規模なスーパーなどでの使用ニーズが高かったことがわかります。

今回の川崎じもと応援券は「中小企業・小規模事業者及び個人事業主」が営む店舗を対象としているため、利用者としては平成２７年度よりも利用先が限定されます。発行冊数を決定するときにはこのことを考慮しておくべきだったといえます。

今回は 応援券 中小・個人経営のみ対象

次のステップ!!
行動力から実行力へ

地域政党 あしたのかわさき 代表
川崎市議会議員
重冨（しげとみ） 達也（たつや）

LINE@ 対話できる場所が増えました!

プロフィール
１９８８年１１月１８日生まれ
等々力保育園／宮内小学校 入学
高輪中・高等学校
首都大学東京 航空宇宙工学専攻 入学
大手学習塾　入社
平成２７年４月　川崎市議会議員選挙　初当選
平成３１年４月　川崎市議会議員選挙　当選

＜議員控室＞ 〒210-0006
川崎区砂子1丁目9番地3 6階
電話 044-200-0568
shigetomi_tatsuya@outlook.jp
FAX 044-281-6340

国政政党に属さない、すべての活動は川崎市のために！